

## 資料7

### 来年度協議会運営方針(案)

第9回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所:秋田市にぎわい交流館研修室1、2

平成25年3月19日(火)

## 1. 推進協議会の役割と今後の進め方

### 協議会の役割:

「事業内容および各種補助申請の検討、関係機関の役割分担等の調整を行う組織」（基本計画より）

#### 【課題】

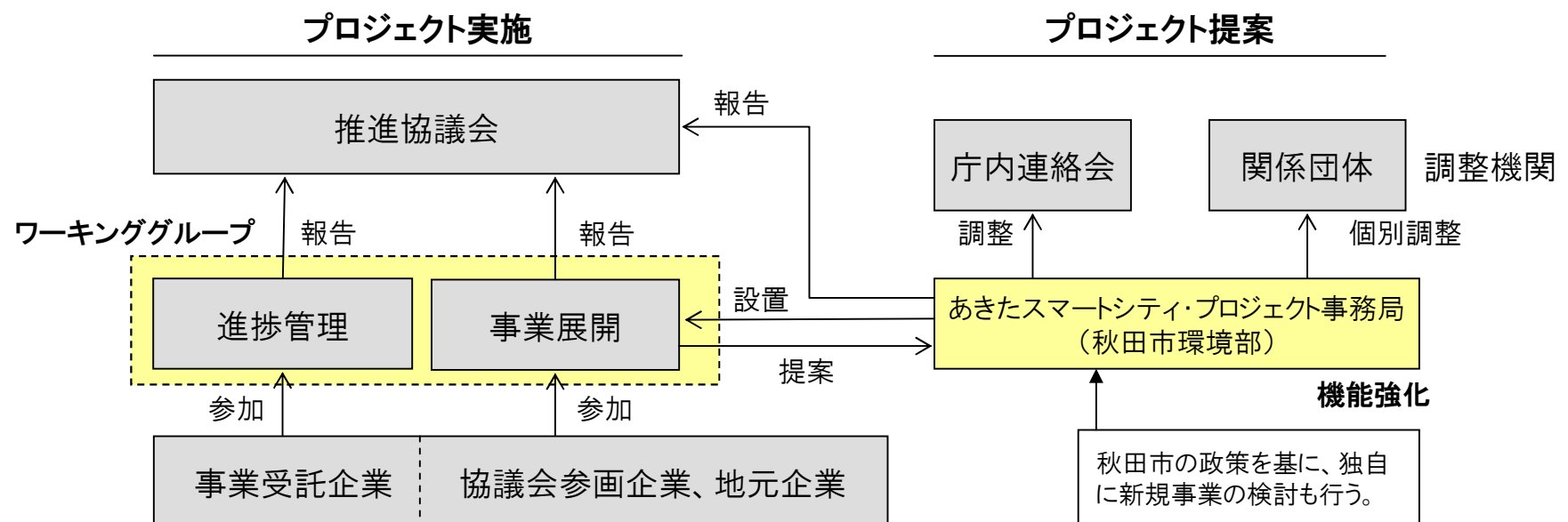
- あきたスマートシティ・プロジェクトも2年目となり、計画したプロジェクトが順次具体化してきており、ワーキング活動も活発に行われている。
- その一方で、プロジェクトの数が多くなったため、協議会がワーキングの活動報告だけで終わってしまっている。
- また、プロジェクトによってはすでに事業が進んでいるものもあれば、次年度からの本格的事業開始の準備を行っているものや、現在事業内容の検討を行っているものなど進捗に差が出てきており、一度に議論を行うのは困難になっている。

#### 【対策】

- そこで、新たなプロジェクトの組成、プロジェクトの効果的な進め方に関する議論については、別途**専門組織**を組成し、推進協議会は各プロジェクト実施の方向性とプロジェクト間の連携等についてアドバイスをを行う機関として位置づける。
- 次年度は、上記専門組織の会議を頻繁におこない、推進協議会は**年2回程度の開催**とする。

## 2. あきたスマートシティ・プロジェクト推進体制(案)

- プロジェクト実施ラインと、プロジェクト提案ラインを分ける。
- 「専門組織」を新たに組成することは、いたずらに組織を複雑化することになるため、現在活動中のワーキンググループの機能を強化ことで対応したい。
- ワーキンググループを、実施中のプロジェクトの進捗管理を行うものと、次年度からのプロジェクト展開を検討するものに分け、後者において新規事業に関する議論を活発化したい。
- また、新たなプロジェクトの組成に関しては、秋田市環境部内に組織する事務局で市の政策との整合性も考慮し検討し、庁内連絡会または個別関係団体に対し調整する。
- 事業者からの新事業提案も、一旦事務局で検討を行うこととする。



### 3. 現在検討中のテーマに関する今後の進め方（案）

プロジェクト	テーマ	方向性
情報統合管理基盤	公共施設のエネルギー管理	計測機器設置とエネルギー使用量削減効果の関係性について検証を行いつつ、現システムの機能充実を図る。
地域ESCO	公共施設に対するESCO事業 地元企業のESCO事業参入	公共施設を対象とした大規模なESCO事業については、事業効果を検証しつつ今後の方針を検討する。 地元企業を対象とした小規模ESCO事業については、事業の実施可能性を具体的に検討する。
地域LEED	地域LEED認証	本年度の検討結果を一旦整理し、将来的にLEED認証に向けた環境が整った際、具体的な検討を再開する。
地産エネルギー	木質ペレット	公共施設への導入を進めつつ、民間事業者への導入可能性について調査を行う。 一般家庭への木質ペレット導入促進に向けた検討を行う。
電子地域通貨	ICカード導入検討	本年度の検討結果を整理し、電子地域通貨導入の環境が整った際、具体的な検討を再開する。
低炭素モビリティ	公用車の効率化 山王地区カーシェアリング	庁内カーシェアリング導入に向けた庁内横断的な検討を開始する。 民間事業者を巻き込んだ、山王地区カーシェアリングのスキームを検討する。
グリーンツーリズム	土崎地域での着地型観光	引続き、秋田県「食農観ビジネス等推進重点支援地域形成事業」で着地型観光構築の実現を目指す。
環境リーダー・ビジョン	90歳ヒアリングの成果活用	シンポジウムで展示したイラストについて、秋田市ホームページへの掲載等により活用する。
	エネルギーコミュニティの創設	秋田市中心部へのパークレット設置を目指した検討を行う。
	環境リーダー	インターンとして参画可能なプロジェクトが実施された段階で実施とする。

#### 4. ワーキング組成（1）～進捗管理～

現在実施中の事業の円滑な推進のための調整、報告のための機関。  
基本的に、受託事業者と秋田市で構成し、必要に応じて有識者を加える。

プロジェクト	内容	検討内容	メンバー
情報統合管理基盤	公共施設のエネルギー管理	計測エネルギー使用量の分析 省エネ運用改善効果の報告	IBM、アイ・エム・サービス、伊藤忠商事、 ESRIジャパン
地域ESCO	公共施設に対するESCO事業	事業の進捗 施設の省エネ効果の報告	ジョンソンコントロールズ

## 5. ワーキング組成（2）～事業展開～

既存テーマに基づいた来年度以降の事業展開を検討する。

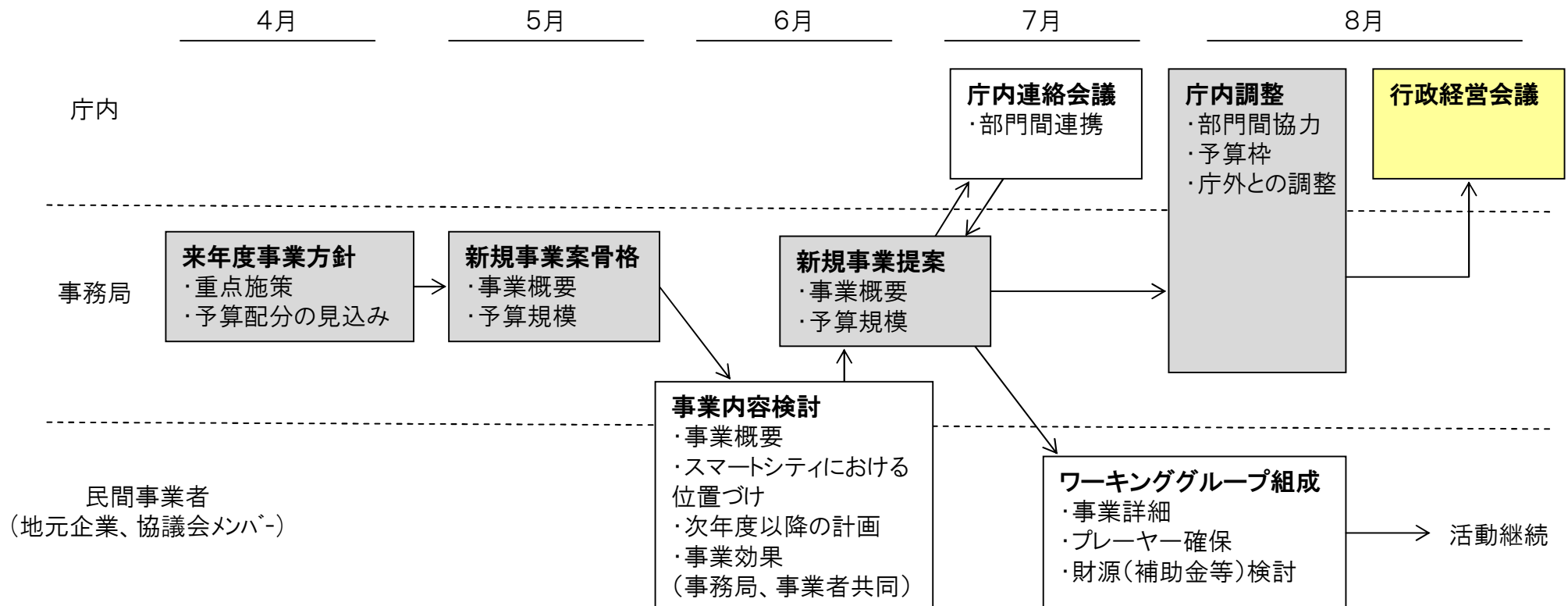
現在のワーキンググループメンバーに必要な応じて推進協議会委員を加える。

ワーキング名称	内容	検討テーマ(案)
地域ESCO	地域事業者による小規模ESCO	地域工事業者のESCO事業参入の可能性検討
あきたSCビジョン	90歳ヒアリングの活用	本年度作成したイラストの活用
	あきたSCビジョンの具体化	秋田市中心部へのパークレット整備検討
低炭素モビリティ	公用車のカーシェアリング	公用車のカーシェアリング化のスキーム検討
地産エネルギー	民間事業者へのペレットボイラー導入促進	導入候補事業者の掘り起し
	一般家庭へのペレット導入促進	秋田産ペレットストーブ・ボイラー製造可能性の検討

## 6. 新テーマのプロジェクト創造の流れ

平成26年度の予算化のためには、平成25年6月末までに事業概要の提案が必要。

新規事業は、事務局(秋田市環境部)が市の方針、市民ニーズなどを考慮して骨格を決め、民間事業者と共同で内容をつくりあげる。



## 来年度スケジュール(案)

本年度中に運営方針を固め、次年度協議会(第10回)には実施方針を報告の予定。  
ワーキンググループは

